

淀川水系流域委員会殿

京都府に下のとおり質問しました。

京都府企業局殿

2008. 6. 5

佐川克弘

H16/10水需要予測に関する質問

Q1. H15年度の給水人口

京都府統計書の実績値を集計すると、H15の給水人口は634,840人です。それに対して「水需要の予測結果」では638,937人です。

この食い違いについて近畿地方整備局は「受水市町へのヒアリング調査結果に基づいたものを採用しており、簡易水道や他市からの受水等、統計書とは集計方法に違いがあると思われる」とお聞きしています。」との説明を受けています。

企業局のヒアリング調査は、聞きっぱなしで他のデータと突合もしないほど杜撰な調査なのですか？

Q2. H15の一日最大給水量

①京都府統計書の市町別実績の単純合計と「予測結果」の実績とは次のように食い違っています。

統計書・・・260,808m<sup>3</sup>

予測結果・・・262,033

この食い違いも聞きっぱなしが原因ですか？

②統計書の単純合計は、恐らく発生日が異なると思われるので、真実の一日最大給水量ではないと考えます。市町別に発生日を教えてください。

また真実の一日最大給水量を教えてください。

Q3. H32における行政区域内人口

市町別に教えてください。また国立社会保障・人口問題研究所の中位推計値に別途加算した人数は17,604人とのことですが、その内訳も市町別に教えてください。

Q4. H32における給水人口および生活用水

市町別に教えてください。

Q5. 生活用水原単位

H15の東京都の一人一日当たりの生活用水は242リットルでした。他方<ケース2>では「積み上げモデルの下限値を248リットル/人/日に設定」しています。16年経っても東京並にはならないのですか？その理由を説明してください。

Q6. 都市活動用水

①H32における都市活動用水量50,342m<sup>3</sup>/日の内訳は

既存市街地の重回帰分析結果・・・・・・・・41,234

既存市街地の新規開発・・・・・・・・・・2,129

既存市街地以外の大規模開発・・・・・・・・ 2, 586

既存事業所の水源転換量・・・・・・・・ 4, 393

で間違いありませんね？

②既存市街地の新規開発で想定している案件とそれぞれの水量、その水量を導き出した根拠＝市町別に用途別床面積・常勤人数・一日平均推定来場者数は？

③既存市街地以外の大規模開発で、第一に挙げられるのが学研都市とのことですが、私がすぐ思い浮かべるのは（正式名称ではないかもしれませんが）「私の仕事館」です。この「仕事館」の床面積・常勤人数・一日平均来場者数、そして肝心の一日平均有収水量の実績値を教えてください。

また「研究所」の研究者が全員住み込みだとしても、一人一日当たり248リットルだから10,427人になります。こんなことは考えられませんから、一人一日当たり50リットルとすると51,710人も研究者が通うことになってしまいます。私の考え方は間違いですか？2,586m<sup>3</sup>と算出した根拠を説明してください。

④既存事業所の水源転換量

市町別内訳を教えてください。またこの転換量について市町の合意を得ていますか？というのは1m<sup>3</sup>当たり20～30円の経費しかかかっていないといわれる企業が、おいそれと京都府の願望をかなえてくれるか疑問だからです。

Q7. H32における有収水量と一日平均給水量

市町別に教えてください。

Q8. H32における一日最大給水量

<ケース2>の市町別一日最大給水量の単純合計は296,770m<sup>3</sup>で間違いありませんね？過去の実績から、全ての市町の発生日が同一日となることは考えられませんので、マクロ的に判断する場合は、単純合計値を補正する必要があると考えます。何故補正しないのですか？水増しして、必要以上の府営水を押し売りして府民を困らせたいのですか？説明してください。

Q9. 自己水量

大山崎町を1,004m<sup>3</sup>としたことには疑問があるが、マクロ的には（京都府としてはめずらしく）予測が多すぎませんか？それぞれの市町と合意しているのでしょうか？

Q10. 府営水

171,800m<sup>3</sup>も単純合計値です。何故正しい値に補正しないのですか？

以上

※来る6月20日までに回答して下さるようお願いします。